

KISC

2019 February

公益財団法人 **かごしま産業支援センター**
Kagoshima Industry Support Center



優秀賞受賞
for BEAUTY



IBUSUKI WE ♥ IBUSUKI
宿指宿
鹿児島県

鹿児島県産産物オクラ100%
食品添加物不使用
かんたん
オクラ水!



有限会社 エール
代表取締役 倉本 哲さん

今号の表紙



「ジャパンメイド・ビューティ
アワード」優秀賞を受賞した
「オクラビューティプロジェクト」

有限会社 エール

代表取締役 倉本 哲

<企業概要>

所在地 指宿市開聞十町129-2
 設立 1991年9月
 従業員数 49名
 事業内容 電子部品組立・検査、農業用資材製造・販売、農産物加工
 TEL 0993-32-3591
 FAX 0993-32-3862
 URL <http://yell-ibusuki.com/>
 E-mail kuramoto @ yell-ibusuki.com

今号の表紙は、指宿市で生産量日本一を誇るオクラをパウダーや種子エキス等に加工し、健康食品や化粧品原料を販売している有限会社エールの代表取締役 倉本哲さんです。

倉本氏はオクラの機能性にいち早く注目し、オクラを原料にその機能性と有効性を新たな価値として美と健康の商品を製造・販売する「オクラビューティプロジェクト」で「そうしんアグリビジネスプランコンテスト2017」最優秀賞、「ジャパンメイド・ビューティアワード」優秀賞を2年連続受賞しています。

同社は1983年、指宿市開聞(旧開聞町)で、電子部品の製造・組立を行う「開聞電子」として創業、1991年に現在の社名に変更しました。

オクラ関連の事業で注目されていますが、主業は電子部品の組立・検査で、売上高の9割を占めています。

主要製品はファクトリーオートメーション用のセンサ。製品は、自動車・携帯電話用の基板、産業用機器、ロボット関連、自動搬送機、無人化された物流工場内のベルトコンベアーやピッキング装置、ETCレーン、洗濯機等、様々な現場で使用されています。

◇オクラをパウダーや種子エキスに

順調に業績を伸ばしてきましたが、景気低迷で受注が減少、新たな事業展開を模索している中で、鹿児島県からオクラ用包装ネット製造の要請があり製造を開始、現在、年間1,000万枚を製造しています。

オクラ用包装ネットを販売する中で、台風被害や規格外品で出荷できず廃棄していた大量のオクラを目にし、何か活用できないかと試行錯誤する中で、保存しやすく使いやすいパウダーへの加工を思いつきました。

完成したパウダーは、手軽簡単に使用できる個包

装タイプを商品化し、自社サイト「オクラからのエール」や、地元物産館や道の駅等で販売しています。また、青汁やスムージー等のドリンクや、麺・菓子・パン等加工食品原料としても要望があり、業務用原料の展開にも取り組んでいます。

オクラには抗酸化力や血糖値抑制効果があることが証明され、近年、テレビや雑誌等のメディアに取り上げられるようになり、生産が追い付かない状態です。

また、完熟したオクラの種子には線維芽細胞を活性化する成分が含まれており、そのエキスを配合した化粧品も開発しています。

今後はオクラパウダーをメインに、スープなどの二次加工品にも力を入れ商品展開してゆく計画です。



オクラパウダー

◇今後の取組

「主業の電子部品の組立については、現在、手作業がメインだが、今後は自動化・省力化を推進し、更なる生産・品質の向上に努めていきたい。

そして電子部品製造で培った技術、モノづくりの精神をベースに、オクラ、そら豆等の地方の企業にとって強みである地域資源を活用した新たな事業展開を図り、地域に根差したモノづくりに取り組んでいきたい。」と、語っておられます。

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 経営相談所よろず支援拠点
- 6 事業承継支援事務局
- 7 わが社の輝く女性！ 有限会社かごしま有機生産組合 山崎 悦美さん
- 8 特集 2018年度 日本経営品質賞(中小企業部門)受賞 株式会社九州タブチ
- 9 企業紹介 株式会社中川製作所 樋脇工場
- 10 特集 食品関連産業「カイゼン」定着支援事業 支援事例紹介
- 12 ベンチャープラザコーナー
- 15 取引振興コーナー

私の 思い



鹿児島県副知事

中村 かおり

東京都出身。
東京大学経済学部卒、米ハーバード大学行政大学院修了。
平成6年労働省（現厚生労働省）入省。
在米日本大使館一等書記官、厚生労働省地域雇用対策室長、厚生労働省公共職業安定所運営企画室長、内閣府高齢社会対策担当参事官を経て平成30年10月から現職。

元気な鹿児島、どこよりも幸せを実感できる鹿児島の実現に向けて

鹿児島の魅力は何かと問われる度に、いちばんは「人」とお答えしております。

昨年10月に着任するまでは、雄大な桜島などの景観や自然、日本一の鹿児島黒牛やかごしま黒豚、養殖ブリ・カンパチをはじめとする安全でおいしい農水産物、全国的にも高く評価される大島紬や薩摩焼などの美しい工芸品、そして明治維新150周年で大きく盛り上がった歴史と伝統、こうした魅力的な要素にあふれる県という印象でした。その印象はもちろん今でも変わりませんが、しかしそのどれもが、鹿児島の力強く温かい人柄をもつ方々の努力によって一層生き生きとした魅力を得ていることを、日々の仕事を通じて知りつつあるところです。

「人」はまた、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進行、経済のグローバル化や技術革新の急速な進展などを背景に、本県にとっての重要な資産であります。三反園知事のもと、県が平成30年3月に策定した「かごしま未来創造ビジョン」は、おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から鹿児島の目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにしたのですが、この中でも「南の風土に培われた資質に富んだ人材」が重要なポテンシャルの1つとして謳われています。

しかし資質に富んだ個人も、一人ではできることに限りがあります。その「人」の力を育て、そして発揮を可能にする場はどこかと考えたときに、中小企業は言うまでもなく重要な位置を占めていますでしょう。企業経営者の方にお目にかか

ると、必ず人材の重要性をおっしゃいます。「人」が当県の誇る中小企業によって活躍の場を得て、また、企業体が資質に富んだ「人」によって生き生きとした生命を吹き込まれるのだと、数々のお話からお察ししております。全国に比べて中小企業の数の割合が高い本県においては特に、中小企業は社会に活力の向上をもたらす地域の経済や暮らしを支える、生きた主体であると言えます。人々のニーズや国際情勢といった与件が目まぐるしく変化する中で、その大切な主体が競争力を高く保つことができますよう、変化に対応できる人材の育成、そして新しいニーズに応えるための研究開発等、県庁もアンテナを高く張って寄り添いながら支援に努めてまいりたいと考えております。

また、県といたしましては、引き続き、本県中小企業支援の拠点である公益財団法人かごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業の皆様の様々な事業展開への支援を通じ、本県経済の発展や雇用創出につなげていきたいと考えております。同センターの積極的な御活用をお願い申し上げます。

着任から4か月が経ちまして、「元気な鹿児島、どこよりも幸せを実感できる鹿児島」の実現に向けてオール鹿児島で取り組んでいくことができますよう、三反園知事のもと精一杯務めて参りたいと決意を新たにしております。皆様方の益々の御発展を心からお祈り申し上げますとともに、近い将来、ご一緒に仕事をさせていただく機会がありますことを楽しみに願っております。

経営相談所
よろず支援拠点

成果が出るまでしっかりサポート！相談は何回でも無料！ 売上を伸ばす支援事例のご紹介

～働くコーディネーターシリーズ～ 第二回

よろず支援拠点では、中小企業・小規模事業者・個人事業主の皆様方のあらゆる経営相談に応じています。経営課題の根本的な原因を明らかにするために、相談者から詳細なヒアリングを行った上で、課題解決に向けた具体的なアドバイスを行います。今回も前回に引き続き、事例紹介と共に担当したコーディネーターの支援の際に注目したポイントなども含め、ご紹介したいと思います。

◆事例3◆

指宿発の新ジャンルスナック「漬物スイーツ」完成！

(株) ひまわり (指宿市)

【相談内容】 法改正による就労継続支援事業所は、より高い「生産性」が求められるようになったため、商品開発を思案するも何から手をつけて良いかわからない。

【支援内容】 通常は数年かかると言われている商品開発を数ヶ月で形にするべく、ターゲットからコンセプトを決め、チョコに高菜を用いるというユニークな発想とネーミングでブランド力をつけ、パッケージデザインに表現するなど商品化へのアドバイスをを行った。

【支援のポイント】 様々なリスクを伴う商品開発を形にするためには『事業者様の覚悟』も必要。全くノウハウがない中、最初から最後まで事業者様自ら商品開発を行ったことで自信が付き、結果モチベーションも向上した。



ノスタルジックなイメージの
スナックNew「たかな」



担当コーディネーター
新地 美沙

ネーミングは商品開発を進める中で生まれました。商品名の「スナックNew たかな」が全体のコンセプトにもなり、パッケージに実際の指宿のスナック街を使い、ポップは昭和っぽさを意識するなど、他に無い商品となるよう全力でご支援しています。

〈専門分野〉 事業革新・ブランディング・デザイン

◆事例4◆

桜島にある自家製パンとコーヒーのお店の創業支援

桜島コーヒー&ベーカリー (鹿児島市)

【相談内容】 製造業、飲食店業共に全くの未経験であり、創業前の資金や創業してからどのように経営すればよいのかに迷い相談。

【支援内容】 県の「起業家スタートアップ支援事業」について採択に結びつく事業計画書の書き方のアドバイスや創業後の経営に関すること全般のアドバイスをを行った。

【支援のポイント】 事業者様の不安が解消するよう、創業や経営のポイントを分かりやすく伝えることに注力した。経営の知識も高まり、県の事業にも採択されたことで自信が付き、事業にもより積極的に取り組むようになった。



シンボルとなるトレーラーハウス (左)
人気のあんぱん (右)



担当コーディネーター
向江 隆行

創業は事業をスタートするだけでなく、続けることが大事です。よろず支援拠点では、創業までの支援だけでなく創業後のフォローアップも行っています。お気軽にご相談ください！

〈専門分野〉 事業戦略・生産性向上・人事労務

相談予約は、
「鹿児島県よろず支援拠点」まで
お願いします。
お気軽にご相談ください。

◇鹿児島県よろず支援拠点

所在地：〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館1階
TEL：099-219-3740 FAX：099-223-7117

E-mail：yoroazu@kric.or.jp URL：http://www.kric.or.jp/yoroazu/

【相談日】 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(祝祭日、年末年始を除く)

鹿児島県よろず支援拠点がお送りする

事例発表ミニスクール 事例から学ぶ売上アップ術

よろず支援拠点では、売上を伸ばしたい！と日々努力を重ねられている小規模事業者・中小企業の皆様へ向けて、2019年1月15日から3月12日の間、6回にわたり売上アップのヒントとなる支援事例をご紹介します。今回のミニスクールは、実際に事業者様が、よろず支援拠点へ相談にお越しいただいてから、どのようなアドバイスにより、どのような効果があったのか？という具体的な支援事例を各コーディネーターの専門分野を軸にご紹介しております。

1

1月15日(火)

終了

お客様の購買意欲を高めるための
店内動線改善！
店舗改善を活用した売上アップ事例
店舗改善・流通戦略・業務改革



小平田 貴子

2

1月22日(火)

終了

伝え方をリニューアル。既存イメージを革新する！
デザインを活用した売上アップ事例
販売戦略・デザイン・コンセプト



松田 貴志

3

2月5日(火)

終了

新たな販路開拓のための新商品サポート！
商品デザインを活用した売上アップ事例
事業革新・ブランディング・デザイン



新地 美沙

4

2月12日(火)

終了

事業のあり方を革新する効率と生産向上手法！
デザインを活用した売上アップ事例
事業戦略・生産性向上・人事労務



向江 隆行

5

3月5日(火)

お店の印象アップでスタッフの
モチベーション向上！
店舗改善を活用した売上アップ事例
事業戦略・店舗改善・デザイン



鎌田 香

6

3月12日(火)

ブランド認知向上のためのプレスリリース！
広報を活用した売上アップ事例
食・IT・経営戦略全般



満留 隆一

店舗改善を活用した売上アップ事例 ～お客様の購買意欲を高めるための店内動線改善！～

第1回目となるミニスクールでは、4件の店舗改善の支援事例をご紹介します。支援のポイントや改善後の効果などご紹介いたしました。

参加者の皆様からは「自分たちが弱みと思っていたことが実は強みであったりと、気づいていない部分などの発見があった」や「よろずさんの視点の違う見解による事例が参考になった」などのご意見をいただき有意義なミニスクールになった模様です。



ミニスクールの様子



受講者として参加された支援先でもある事業者様から、支援後の効果や感想など、実際の生の声をいただきながら学ぶことができた。

お問い合わせは
鹿児島県よろず支援拠点
TEL 099-219-3740

開催場所・時間：鹿児島県産業会館7階会議室 18:00～19:00
受講料：無料（駐車場は近くのコインパーキングをご利用ください。）
受講を希望するテーマ、日付、会社名、所在地、受講者名、連絡先をお電話にてご連絡ください。

事業承継支援事務局



～経営のバトンタッチを考えている経営者の皆様へ～

◇事業承継税制が大幅に緩和され、 使いやすくなりました！

■「事業承継税制」って、どんな制度？

高齢化が進む中小企業経営者の世代交代を後押しするため、事業承継時の非上場株式等に係る贈与税・相続税の納税を一定の要件の下で猶予する事業承継税制に、2018年度税制改正により、10年間の時限措置として「特例措置」が創設されました。

これにより、承継時の贈与税・相続税の負担をさらに軽減することができるようになりました。

主な改正項目	従来（一般措置）	特例措置
対象株式数	総株式数の最大3分の2まで	全株式
納税猶予割合	贈与：100% 相続：80%	100%に拡大（金銭負担ゼロ）
雇用確保要件	承継後5年平均80%維持	弾力化
承継パターン	複数株主から1人	複数株主から最大3人
経営環境変化に対応した免除	なし	あり

※ なお、個人事業主については、国が2019年度税制改正で、「個人版事業承継税制」として、事業用の土地、建物、機械、器具備品などの資産を後継者に引き継ぐ場合、事業を営む限り贈与税や相続税の納税を10年間の時限措置で全額猶予することを検討しています。

■特例措置による納税猶予を受けるためには？

中小企業経営承継円滑化法に基づき、必要な手続きが定められています。

① 「特例承継計画」の確認申請 2018. 4. 1 から2023. 3.31までに県へ提出

② 贈与、相続の発生 適用期間：2018. 1. 1 ～ 2027.12.31

③ 認定申請（認定申請書、その他必要書類を県へ提出）
贈与→贈与年の10/15～翌年1/15までに申請
相続→相続開始日翌日から5か月を経過する日から8か月以内に申請

④ 税務署へ申告（認定書の写しを添付）

※ 手続きの詳細は、鹿児島県ホームページ（<http://www.pref.kagoshima.jp/>）をご確認ください。
ホーム>産業・労働>商工業>経営支援>経営承継の円滑化に関する支援について（経営承継円滑化法）

■積極的な活用を！

今回の税制改正で、自社株式等承継時に贈与税と相続税が全額猶予される仕組みが整備され、後継者が背負うことになる贈与税・相続税の負担が軽減されました。

今後事業承継を控えている経営者の方は、ぜひこの機会に、税制の詳細、要件への適合性、適用時のメリット・デメリットなどについて、相続税や事業承継税制に詳しい税理士に相談されることをお勧めします。当事務局では、事業承継の専門家（税理士等）を派遣し、税制活用等に関するアドバイスを無料で行うことができますので、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】（公財）かごしま産業支援センター 事業承継支援事務局

TEL：099-219-8123 FAX：099-219-1279 Mail：syoukei@kric.or.jp

<http://www.kric.or.jp/outline/keiei/jigyousyoukeihaken/>

わが社の輝く女性！

今号は、日本最大の有機農業生産者集団、有限会社かごしま有機生産組合で、『オーガニックベビーフード』などの有機農産物の商品開発・製造業務を担う、地球畑企画課加工プロジェクトリーダー山崎悦美さんです。

有限会社かごしま有機生産組合

所在地：鹿児島市五ヶ別府町3646
 設立：1984年4月
 従業員数：70名（パート含む）
 事業内容：有機農産物の生産・販売・加工、
 直営店・カフェ運営
 TEL：099-282-6867
 FAX：099-282-9060
 URL：http://kofa.jp
 地球畑URL：http://www.chikyubatake.jp/

山崎 悦美（やまさき えつみ）
 地球畑企画課
 加工プロジェクトリーダー
 大分県宇佐市安心院町出身
 2011年来鹿
 （主人の仕事の都合）
 2016年4月入社
 特技 高いところに手が届く



◆会社紹介

当社は、農薬と化学肥料に依存した近代農法への反省から有機農業に着目し、消費者の生活や健康がより健全なものであるようにとの願いから10名の有機農家で組合組織を立ち上げ、安全でおいしい有機農産物の生産・販売に取り組んできました。

現在では約160戸の生産農家、うち有機JAS認証済み農家は約100戸にのぼり、日本最大規模の生産者団体に成長しています。

また、鹿児島市内に有機野菜や加工食品を扱う直営店『地球畑』を3店舗、オーガニックカフェ1店舗を運営しており、有機野菜や自社製品、オーガニック加工品を直で楽しめる店舗となっております。

5年ほど前に加工品事業を立ち上げ、地球畑オリジナル加工品を企画、生産販売を始めました。小規模ではありますが、自社で有機JAS認定加工場を持ち、人参ジュース・ごぼう茶・おかき・ジャム・ドレッシング・ベビーフードなどを取り扱っています。

◆会社での現在の担当部署は

地球畑店舗の運営サポートや、加工品の企画営業を行う『地球畑企画課』内で、加工プロジェクト（商品開発・製造業務）のリーダーを務めています。加工プロジェクトといっても、ほぼ一人で商品開発から製造責任者まで担っているため、単純な作業から複雑な業務まで行っています。商品を企画立案し何度も検証し、社内で試食確認など行いながら商品化を進めます。同時に原価計算や包材、製造ライン、商品の仕様書作成も含め検討していきます。

有機JAS加工場の管理者でもあるので、原料仕入れから出荷までの記録管理などの品質管理も行います。

また、時々自社店舗へ出向いて、オリジナル商品の試食販売を行いお客様の生の声を聞いたりして商品開発に役立っています。



商品開発の様子

◆入社へのきっかけは

3年半ほど育児で休職していましたが、これまで食品

会社での商品開発業務、大学食堂で栄養士と食品一筋の仕事をしてきて、物を作る仕事が好きでしたし、経験もあったので、これからも続けられる仕事だと思い入社させていただきました。

◆仕事上での印象深い体験談など

入社直後から、製品の高付加価値化のために、製造工程の変更、商品のリニューアルに取り組み、現場や商品の整備にあたっておりました。

そんな中、以前から構想をねっていた『オーガニックベビーフード』の開発を命じられました。大隅加工技術研究センターのご協力をいただき、スタッフとともに最終イメージを膨らませながら、何度も試作検証を重ね、1年ほどかけてようやく販売に至りました。

販売当初は、5ヶ月の赤ちゃんからという狭いターゲット層であるから取引に繋がるのはわずかでしたが、有機野菜を使った安全な食を赤ちゃんから提供したいという思いや方向性はまちがっていないと信じて続けてきました。そのような中、商品開発に携わっていた元スタッフのアドバイスもあり『かごしま新特産品コンクール2018』に出品しましたところ、光栄にも食品部門で鹿児島県特産品協会理事長賞を受賞させていただくことができました。以降、多方面よりお声をいただく機会が増え、他の製品も含めて少しずつですが注文や問い合わせが増えていきます。



鹿児島県特産品協会理事長賞を受賞した『オーガニックベビーフード』、自社加工製品

◆会社への思いや抱負について

当社は、『有機野菜って何?』といわれた時代から、30年以上有機野菜作り一筋に取り組んできた会社です。ここ一、二年で『オーガニック』商品をたくさん見かけるようになり、問い合わせも増えてきています。海外からの引き合いもあり、昨年2商品が海外へ旅立ちました。

当社の商品は全て生産者の顔が見え、その原料のほとんどが鹿児島、地元産のものを使っています。地元の方ももちろんですが、全国・世界へと愛される、正直な商品作りをこれからも目指していきたいと思っています。

特集

県内企業初！ 株式会社九州タブチが
2018年度日本経営品質賞(中小企業部門) 受賞！

日本経営品質賞は、1995年12月、顧客の視点から経営全体を見直し、自己革新を通じて新しい価値を創出し続ける「卓越した経営の仕組み」を有する企業表彰制度として、日本生産性本部が創設致しました。現在の成果を生み出したこれまでの経営を体系的に評価し、組織の未来を創造する指針となる具体的な基準を公開し、その基準に基づいて自組織の経営を自己評価すること＝セルフアセスメントを奨励しており、多くの企業はこのセルフアセスメントを行って経営革新を推し進めることが、受賞へと至ります。

今回、株式会社九州タブチが鹿児島県関係では制度創設以来初めて「日本経営品質賞(中小企業部門)」を受賞しました。

また、同社は、2011年度に地域経営品質賞の「鹿児島県経営品質賞知事賞(大賞)」を受賞しています。

2018年度 日本経営品質賞(中小企業部門) 株式会社九州タブチ

- ・代表者：代表取締役社長 鶴ヶ野 未央
- ・所在地：霧島市国分敷根120番地
- ・事業内容：製造業(給水設備製品の製造)
- ・従業員数：170名
- ・TEL：0995-45-1523、FAX：0995-45-6433



<受賞の様子：右から三番目が鶴ヶ野社長>



<受賞記念撮影>

【受賞理由】

- 給水システム製品のパイオニアTBCグループを支えるものづくり機能会社
- 危機を契機にTPSと経営品質向上活動に取り組み、さらに独自活動へと昇華
- TPI活動でのビジネスパートナーとの相互連携と、次世代リーダーの育成
- プロセスイノベーション活動におけるTBCグループ内外での相互連携
- 工場見学者や水道工事現場へのインサイトによる新たなニーズの発見
- ホールプロダクトの価値を高めるセレンディピティを生む洞察
- 短納期・在庫レス・工事のしやすさ(工期短縮)などの顧客ベネフィットの実現
- 生活者視点でのマーケティング革新
- 人と組織の飛躍的な成長を図るための基盤づくり

【九州タブチの目指す姿】

価値観：社員(人)や組織の成長がなければ、会社の成長はありません。我々は社員と組織の成長を経営の最重点課題とします。

ビジョン：「社員の皆さんが持っている力を最大限に発揮できる働きやすい会社」「社員の皆さんの子どもが働きたいと思える魅力的な会社」を目指します。

〈鹿児島県経営品質協議会からのご案内〉

- ・当協議会では「顧客本位」の組織体制を作り上げることの重要性や、それを実現するための有用な手法である「経営品質向上プログラム」についての勉強会・セミナー等を開催しています。
- ・経営品質賞への応募を考えておられる企業につきましても、下記までお問い合わせください。

◇鹿児島県経営品質協議会(事務局：かごしま産業支援センター産業振興課内)

TEL：099-219-1272 FAX：099-219-1279 URL：http://kagoshima-mqa.jp

企業紹介

■会社概要

株式会社中川製作所は、薩摩川内市出身の代表取締役会長 茶園健四氏が、金属加工品の製造を目的に、1971年9月に神奈川県で創業しました。

当時、茶園氏の親族が川内市でフライス盤・ボール盤等を用いて機械加工を行っていた工場を、1980年に改装し川内工場として設立しました。

その後、2001年に川内工場を樋脇町の誘致企業として現在地に移転しました。

現在は、神奈川県の本社工場と樋脇工場で半導体製造装置、測定機器、通信機器、医療機器などの精密機器の製造を行っています。



社屋外観

■当社の優れた技術

当社は、半導体製造装置、測定機器、航空宇宙関連の部品加工メーカーとして、精度の高い切削加工技術で製品を製造しています。

横型マシニングセンタ、立型マシニングセンタ、NCフライス盤、汎用フライス盤などを用い、アルミ、真鍮、ステンレス、鉄などの材質の加工を得意とし、24時間稼働で生産しています。

横型マシニングセンタでは、主にアルミ素材の多面加工によって精度を要するものの製造や量産品の製造を行い、ローコストを実現しています。

立型マシニングセンタでは、板材の加工やステンレス、鉄などの加工を行っています。

自動機だけに特化せず汎用機で加工品によって柔軟に対応し、ローコスト、短納期、ハイクオリティを実現しています。

三次元測定機での製品検査やアルマイト、アロジ、無電解ニッケル、クロメート、レイデント、テフロン等の表面処理も行っています。

小物、精度、量産品を得意とし、主要製品は半導体用シリコンウェハなどで、売上高の約7割を占めています。

また、衛星搭載品、光ファイバー関連の装置・部品などの精度の高い部品の製造も行っています。

その技術を生かして、アルミのブロック材から削り出して加工した薄さ0.1mmのアルミスピーカーコーンに、フレームなども自社製作したオーディオスピーカーを製造し、かごしま産業支援センターの支援事業を活用して関東圏などへの展示会出展の際に展示し、技術力をアピールする機会となっています。



株式会社 中川製作所



取締役社長
飯母 誠

本社：神奈川県大和市下鶴間2768-30
樋脇工場：薩摩川内市樋脇町塔之原10414

設立：1971年9月

従業員数：61名

事業内容：半導体製造装置関連・真空装置関連・測定装置関連・光学計測関連・航空宇宙関係の装置・部品加工

T E L : 0996-38-2570(樋脇工場)

F A X : 0996-38-2550(樋脇工場)

U R L : <http://www.nakagawa-ss.co.jp>



自社製作のオーディオスピーカーと薄さ0.1mmのスピーカーコーン

近年の半導体業界の好調により設備投資も積極的に行っており、昨年、樋脇工場を増設し新規設備を導入しました。今後は定期的に設備と人材を補強する計画です。

■当社の企業理念

【永続性】私たちは自ら発案する創造型技術企業を目指します。

【社会性】私たちは最適な工法を提案し、お客様に満足していただける企業であり続けることで社会に貢献していきます。

【人間性】私たちは常に切磋琢磨し職人として誇りの持てる企業にします。

■今後の展望・抱負

本年度より三ヶ年計画を策定し、設備投資、人材補強、自社開発したデータベースによる生産性向上及びペーパーレス化に取り組んでいます。

樋脇工場の増設を機に、生産拠点を樋脇、営業拠点を本社に置き、2拠点化を図り、サーバで一元的に管理、光通信を利用したテレビ会議などで社内一体化を図る計画です。

初年度は工場増築、新規設備導入、データベース化を含め思い切った設備投資ができたので、次年度はそれを実行に移す時期だととらえています。

今後も企業努力を重ね「ものづくり」の現場で、社会からより求められる企業を目指します。

特集

食品関連産業「カイゼン」定着支援事業
支援事例紹介

- 当センターでは、県内の食品関連企業に対して、ものづくり企業としての意識の高揚に取り組みながら、高次な生産管理手法を用いて徹底したコストダウンを実践できるような生産体制を整備し定着させることで企業の利益力を向上させ、新商品開発や販路開拓への取組を促進するとともに、現場の意識改革を醸成し、職場環境の向上を図るための事業を実施しています。
- 今回は、『食品関連産業「カイゼン」定着支援事業』を活用し、改善活動に取り組んだ事例を紹介します。

事例1 製造工程の見える化

(農事組合法人三笠えのき茸生産組合)

◆課題◆ 経営者の「脳内ノウハウ情報」の共有資料への転換

1978年設立の農事組合法人三笠えのき茸生産組合は、代表理事の松崎勝利氏が、自然の恵みと循環を第一に、鹿児島県産の杉間伐材や地元阿久根米の米ぬかなど、培地の原料にまで徹底してこだわる栽培方法により、味も香りも濃いきのこを生み出しました。

これまで製造に関するドキュメントの整備に注力してこなかったため、松崎氏が不在だと作業がストップする工程があり、不在時でも業務遂行出来るように多能工化を図りたいとの支援要請を受けました。



◆支援◆ 栽培手順書の作成、製造実績の定量化

ステップ1.0 栽培手順書作成 (成果物)

- ①現場の詳細確認、素案提示、修正、確認、修正を繰り返し
- ②完成後、手順書の必要性及び有用性について、全社員対象で勉強会

ステップ1.1 目視検査基準書作成 (成果物)

- ①栽培手順書作成過程で、収穫作業時の生育状況判断基準が曖昧であることが確認されたため、写真を用いた判断基準として目視検査基準書を作成

ステップ2.1 現状の製造実績の定量化 (成果物)

- ①感覚として、各作業の1時間当たりの生産性は認識されていたが、定量化されていなかったため、当日の予定数の終了時間予測などは行われていなかった。
- ②実績を記録するフォーマット素案提示、修正、テスト記入、修正を繰り返し
- ③3か月の実績を基に、3工程の1時間当たりの生産性を確定
- ④商品一覧(使用部材を含む)、顧客一覧についても、今後の必要性を考慮し作成。(成果物)

ステップ2.2 実績データの活用方法指導 (データの着眼点などを担当者に指導)

- ①平均値、標準偏差を基に、実績データがバラツキ範囲であるかを管理図で見える化、また工程能力の判定を実施
- ②工程能力値を基に、当面の生産性目標値を設定
- ③途中で、管理図の作成・見方について、担当者勉強会

農事組合法人三笠えのき茸生産組合

代表理事 松崎 勝利

所在地：阿久根市脇本7989

設立：1978年

従業員数：10名

事業内容：きのこの生産、販売、
きのこ加工品の製造

TEL：0996-75-1008

URL：http://3kasa.com/

E-mail：contact@3kasa.com

カイゼンインストラクターから



温水 洋一

栽培手順書の作成を手始めに、製造実績の定量化を実現し、製造工程の見える化が着実に進んできています。

現在は、見える化された指標の分析・活用に向けた実践を積んできており、担当者から経営者への課題提言が可能になりつつあります。

今後は、担当者の自立に向けた支援を行う予定です。

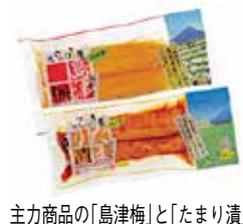
事例2 生産性向上による利益創出と顧客信頼度アップ (水溜食品株式会社)

◆課題◆ 急な注文への対応、労働生産性向上、不良発生率低減

水溜食品株式会社は、1941年創業以来、鹿児島県頴娃町・知覧町の広大な大地に育まれた大根を大きな樽（ヤグラ）にかけ、南国の太陽と寒風で干し上げた寒干大根や生三押大根、割干大根、細割大根、高菜等を原料に、伝統の技、手造りの味にこだわったおいしい漬物を製造しています。

今回、下記の事項について改善を図りたいとの支援要請を受けました。

1. 急な注文に対応できずビジネスチャンスのロスが発生している。
又、注文に対して出荷日が回答できず顧客への信頼低下が発生。
繁忙期は残業が多く発生し、ムリをさせ、閑散期には余力があり、ムダが発生している。
2. 労働生産性・一人あたりの付加価値を高め、会社の競争力を強化する必要がある。
改善に取り組みたいが現場は常に忙しく、改善や教育に取り組み余裕がない。
貢献している社員の評価を高めていきたい。
3. 不良率を減らし損失金額を減らす。及び顧客クレームを減らし顧客信頼度アップを図りたい。



主力商品の「島津梅」と「たまり漬」

◆支援◆ 生産計画の立案から運用、作業法の見直し、従業員の意識向上等

1. 生産計画の立案から運用
 - ・月々の繁忙期・閑散期を明確にし、保管期限を加味した適正在庫数の確保、年間を通じた平準化生産、段取りの少ない効率の良い生産ができる生産計画の立案・運用方法の支援。
 - ・商品ごとに月々の出荷実績を把握し売り上げの増減の傾向を見える化した。
 - ➔ 計画的及び効率の良い割り付けを行うことでムリ・ムダ・ムラが改善され生産性が3割アップした。
 - ・急な注文、需要変動、新規受注などに対応できるようになり出荷遅れもなくなった。
 - ・適正在庫数を確保することで、出荷日が回答できるようになり、顧客信頼度が上がり需要が増えた。
 - ・生産性がアップしたことで拡販ができ需要は3割増えたが、人員補強・残業をせずに対応できた。
2. 生産性の向上
 - ・作業実績、出来高等のデータを見える化し、ムダの改善、作業法の見直しの改善の支援を実施。
 - ・工程ごとの生産能力の最適なラインバランスの実施の支援。
 - ・製造目標の設定を行い作業者が目標意識を持って取り組み、意識向上の支援。
 - ➔ 高菜固形製品の1人・1時間あたりの出来高数が2.5倍アップし大幅な需要増に対応できた。
 - ・需要増への対応で売上・利益がアップした結果、ボーナス還元・従業員評価制度の見直しが図れた。
 - ・定期的な社員教育が可能になり、改善での効果が目に見えて分かり、従業員に向上心が生まれた。
3. 不良率・顧客クレームの低減
 - ・発生率、発生内容の内訳、発生による損失金額等を見える化し、要因分析から対策実施の進め方の支援。
 - ➔ 不良率・顧客クレームが半減、損失金額が減少し、利益への貢献と顧客からの信頼度がアップした。

水溜食品株式会社
 代表取締役社長 水溜 政典
 所在地：南さつま市金峰町宮崎2940
 設立：1941年
 従業員数：46名
 事業内容：漬物製造卸売業
 URL：http://mizutamari-shokuhin.jp/



カイゼンインストラクターから



磯脇 弘人

課題の明確化、データの見える化から改善の進め方のゼミを開催し改善に取り組んでいます。

専務・常務・工場長・担当者を含め取り組んだことで約1年間の短期間で多くの成果が出せました。

利益が出たことで処遇改善、職場環境改善を行い雇用の安定化につなげています。

今後も継続的な改善ができ、利益創出し続けられるように支援を行う予定です

生産管理・カイゼン等に詳しい2名のカイゼンインストラクターが訪問して、無料で相談等に対応いたしますので、お気軽にご連絡ください。

◇ (公財) かがしま産業支援センター 総務情報課
 TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279
 E-mail：info@kric.or.jp
 URL：http://www.kric.or.jp/cat-soumu/43951/

ベンチャープラザコーナー

第74回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

平成30年11月14日（水）鹿児島市で開催し、キリシマ精工(株)、(株) Climbest（クラインベスト）、セイカ食品(株)の県内の3社にそれぞれビジネスプランを発表していただきました。

100名を超える参加者は、発表に興味深く耳を傾けるとともに、質疑応答も活発で盛会となりました。（発表企業累計246社、うち県内企業185社）

○発表その1 患者と歯科医双方の負荷軽減を実現した次世代歯列矯正器具「EGG BRACKETS（エッグブラケット）」の販路拡大（キリシマ精工株式会社）

キリシマ精工株式会社

代表取締役 西重 保

霧島市国分川原918-7

TEL：0995-73-4311

FAX：0995-73-4313

URL：http://kirishima-seiko.jp/



発表する
西重営業部課長

の裏にブラケットを装着する舌側矯正（ぜっそくきょうせい）があり、舌側矯正は審美性に優れる反面、舌が器具に当たり違和感がある、歯科医の技能が必要といった課題があります。

今回開発した「エッグブラケット」は、切削の長所である仕上り精度を重視し、鋳造による従来品に比べ、薄く丸みを帯びた形状とシンプルで装着しやすくかつ壊れにくい構造により、患者と歯科医双方の負荷軽減を実現しています。



「エッグブラケット」（手前）と
同器具を用いた舌側矯正法「ゼロシステム」（奥）

発表内容

《企業紹介》

弊社は2006年8月に創業し、精密金属切削加工を行っております。

加工材質は一般的なSUS・鉄・非鉄はもちろん、難削材と言われる、コバルト・ニッケル・モリブデン・ハステロイ・チタン等も調達から加工まで対応しております。

品質の安定・工程の削減・加工時間の短縮・材料無駄の削減を可能にした、弊社独自の加工方法「カーブカット工法」は、高い評価をいただいております。光通信部品・半導体部品・装置部品等の試作から量産まで対応させていただいております。



《商品開発のきっかけ》

かねてより、「自社製品の開発をしたい」「医療分野への進出を図りたい」と考えておりましたところ、展示会の弊社ブースに来場された矯正歯科医の先生に弊社の加工技術が目にとまり、先生と共同で矯正器具を開発することとなりました。

《商品の特徴》

歯列矯正には、歯の表に矯正器具（ブラケット）を装着する唇側矯正（しんそくきょうせい）と、歯

発表後の成果・感想

歯科関連の企業の皆様とも、名刺交換をさせていただきました。

また、今後一緒に取組んで欲しいとのお声も頂戴いたしました。

発表前は非常に緊張しましたが、発表を終え、皆様から「分かりやすかった」「勉強になった」「頑張ってください」とのお声をいただき、小さな会社ですが、アピールすることができたと実感いたしました。

今後の展望

今後は、このチャンスを活かし、販売メーカーとのパイプを太くし、新たな製品の開発に取り組んでまいります。

「霧島から世界へ！メイド・イン・キリシマ」を合い言葉に精進してまいります。

○発表その2 「伝わる外国語」で外国人顧客の心を鷲掴み!! 鹿児島県の翻訳会社による
質の高い翻訳サービスの販路拡大 (株式会社 Climbest)

株式会社 Climbest
代表取締役 脇野 真梨花
鹿児島市易居町1-2
鹿児島市役所みなと大通り別館
6階ソーホーかごしま11号室
TEL : 099-811-0349
URL : <http://www.climbest.co/>



発表する
脇野代表取締役

発表内容

《企業紹介》

鹿児島県在住の翻訳者たちとともに翻訳業を行っております。

対応可能言語としては英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、アラビア語、日本語の10か国語となっております。

主要な翻訳内容としては、会社概要、ホームページ、商品案内やメニュー、取扱説明書から海外展示会出展時の資料や名刺、展示会出展後のサンクスメールや海外企業様とのメールのやりとりなどまで幅広く対応させていただいております。

《商品開発のきっかけ》

約7年の海外生活から帰国後、アメリカから知人が訪ねて来てくれました。

鹿児島の美味しい料理を食べてもらいたいとの思いから、「何が食べたいか」と尋ねると「ファミレスで良い」と言われ衝撃を受けました。

理由は、地元の飲食店は日本語のみのメニューばかりで、日本語が分からない知人にとっては注文が難しく、ファミレスであれば料理の写りが載っていて自分でも注文ができるからとのことでした。

海外に住んでいた時の自身と重なり、外国人が安心して入店できる飲食店や日本での選択肢を増やしたいとの思いから平成27年に起業しました。



アメリカ留学時にクラスメイトと
(前列左から4番目が脇野さん)

《商品の特徴》

翻訳者が各国のネイティブのため、翻訳対象国の文化や習慣等を考慮した「外国人目線の翻訳」で売上アップにつながる可能性が高いこと。

また、翻訳者は基本的に鹿児島県在住のため、県外在住の翻訳者に比べ鹿児島県に対し理解があるとともに、機械ではなく「人の手」による翻訳のため、直接翻訳担当者と話せるので安心であることが特徴です。



英語・中国語・韓国語に翻訳されたメニュー

発表後の成果・感想

発表後に出席していただいた方々とお名刺を交換させていただき、早速お仕事の御依頼をいただくことができました。

今後、外国人観光客の増加や、国内の人口減少、新興国の経済成長に伴う消費市場の拡大等を背景に、外国語対応は必要不可欠となる中、日本人に限らず外国人でも正しい伝え方をすれば顧客になるということ、そのためには外国人目線の「伝わる翻訳」が必要であるということをもっと多くの方々にPRすることができました。

今後の展望

地元鹿児島県の魅力を正しい情報で発信し、海外の方にも鹿児島のファンになってもらえるよう努めます。

今後はインバウンドだけではなく、鹿児島県から海外へ販路拡大を行う企業様からの御依頼も増やしていけるよう翻訳の質を高め、「外国人顧客の心を鷲掴み」できる翻訳を目指します。

また、自身の経験をお伝えすることで、これから起業を目指す女性のお役に立つことができればとも考えています。

○発表その3 こなみずきでん粉（甘藷でん粉）を使用した同社初のグミ商品
「ぱりぷにゅ」の販路拡大 （セイカ食品株式会社）

セイカ食品株式会社

代表取締役社長 玉川浩一郎
鹿児島市西別府町3200-7
TEL：099-254-0685（製菓部）
FAX：099-252-8757（製菓部）
URL：http://www.seikafoods.jp/Index.htm



発表する
製菓部製造企画室
本坊室長

にゅ」を開発しました。

地域資源であるさつまいも（こなみずきでん粉）を使用した、アレルゲン、動物性原料（ゼラチン）、油脂不使用のグミとなっております。

これまでアレルギーや宗教上の理由（動物性原料を口にできない）、ビーガン（植物性食品のみを食べる）等の理由から、グミキャンディを食べることができなかった人々が食べられる商品となりました。



初のグミ商品「ぱりぷにゅ」

発表内容

＜企業紹介＞

弊社は、大正8年9月の会社設立以来90年余、幾多の波瀾を乗り越えて今日を迎えました。

「ボンタンアメ」や「南国白くま」をはじめとする菓子・冷菓等の製造、卸売を軸に、営業所網や関連会社を充実させてまいりました。

こうした歴史の中で一貫して流れております精神は、事業を通して人々の為に尽くそう、社会に貢献しようということであり「真面目な製造、真面目な販売、真面目な経営」を社是として心がけております。



主力商品の「ボンタンアメ」「南国白くま」

＜商品開発のきっかけ＞

鹿児島県で栽培が盛んな甘藷（さつまいも）のでん粉は、多くがぶどう糖、水あめなどの糖化製品に使われ、とうもろこしやじゃがいものでん粉と比べ、食品向けの利用が半分以下という現状があります。

新品種「こなみずき」のでん粉は、糊化したでん粉の離水が少なく、保水性と柔らかさを維持できる特性を持っているため、菓子や練り製品などへの利用による高付加価値化が期待されていますが、活用例もまだ少なく、知名度を高めるためにも同でん粉を使用した商品開発に取り組み、地域社会の発展に貢献したいと考えました。

＜商品の特徴＞

今回は、これまで「ボンタンアメ」の製造で培ったノウハウを活かし、弊社初のグミ商品「ぱりぷ

発表後の成果・感想

このたびは本品の紹介・今後の構想について発表する機会をいただき、ありがとうございました。

発表後の質疑応答や交流会では貴重な御意見や御質問も多数いただくことができ、また御縁を広げることもできました。

今回の御意見・御縁を活かし、今後の商品展開、販路拡大に努めてまいりたいと思います。

今後の展望

「ぱりぷにゅ」のシリーズ化（桜島小みかん味以外の商品展開）とともに、土産向け商品だけでなく、将来的にはスーパーやコンビニなどの一般の店頭にも並ぶ商品として販売することができればと考えております。

そのためには、量産化に向けた装置導入を計画的に行い、テストレベルの生産から脱却し、生産性を高める必要があると考えております。それに加え、こなみずきでん粉の特性を活かした新たな製品開発も進めてまいりたいと思います。

◇ 次回の「二水会」開催予定 ◇

第76回 2019年5月8日（水）15：00～
（場所は鹿児島市内）

※発表を希望される企業の方は、お気軽にご相談ください。

◆◆◆ 取引振興コーナー ◆◆◆

■ 『平成30年度 かがしま取引商談会』 を開催しました

県外の発注企業等を本県に招へいして県内受注企業と個別商談していただく「かがしま取引商談会」を開催しました。当日は、関東、中部、関西、中国、九州地区から31社の発注企業と県内から55社の受注企業が参加して活発な商談が行われました。その後開催された交流懇談会では、商談できなかった企業とも熱心に情報交換が行われました。

商談会の翌日には、一部の発注企業は県内受注企業を訪問し商談や工場見学を実施しました。この商談会をきっかけに新たな取引が開始されるなど、県内受注企業の受注機会や取引先の拡大に結びつくことが期待されます。



商談会 会場風景

開催日	平成30年12月11日（火）
場所	ホテルウェルビューかごしま（鹿児島市）
主催者	ビジネスマッチング協議会 （参加受注企業の代表者とかごしま産業支援センターで構成）
発注企業	31社（うち県内2社）
受注企業	55社
実績	商談数215 フォロー調査を実施中

■ 『平成30年度 九州7県合同広域商談会』 を開催しました

「九州7県合同広域商談会」を名古屋市で開催しました。今回は、関東、中部、関西、中国地区を中心に発注企業55社と九州各県から114社の受注企業が参加して、活発な商談が行われました。この商談会をきっかけに新たな取引が開始されるなど、県内受注企業の受注機会や取引先の拡大に結びつくことが期待されます。



商談会 会場風景

開催日	平成30年11月27日（火）
場所	愛知県産業労働センター ウィンクあいち（名古屋市）
主催者	（公財）全国中小企業振興機関協会 九州7県支援機関
発注企業	55社
受注企業	114社（このうち本県からは18社の企業が参加）
実績	商談数458 （うち鹿児島県企業商談数76） フォロー調査を実施中

◆発注情報

九州7県合同で全国の発注企業を対象にした発注案件の調査を年2回（6月、11月）行っています。今回は2回目の調査で発注申込があった一部を掲載しました。あっせんのご希望がありましたらご連絡ください。なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、その際はご了承ください。

	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材料
1	鹿児島県	①治具研削加工 ②放電加工	1～10コ	機械加工用ホルダー	①治具研削盤 ②型彫放電加工機	SNM439 SKD、SUSなど
2	長崎県	①制御盤、板金製作 ②ステンレス薄板加工	①②ともに様々	①板金製作（切断～塗装） ②0.6～3tの板金（切断～溶接）	①②ともに タレパン（5×10） プレスプレーキ	①電気メッキ鋼板（ボンデ鋼板） ②SUS304
3	京都府	精密機械加工部品	1～100コ	液晶・半導体・装置部品等の機械加工品	五面加工機・MC・旋盤 研磨機・ワイヤー放電等	AL、SUS、SS、CUなど

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 取引振興課 TEL：099-219-1274

《ご利用ください》

公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍等の

送出国企業

お手伝いをしています

受入企業



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。(ご利用は無料です)
- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人
産業雇用安定センター
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



ISO審査
教育・研修

ISO広場

地元で安心
コストも安い

JAB・ANAB を選べる審査代理店

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2
TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078
URL: <http://www.minami-sinsa.com> お気軽にご相談ください

情報 KISC 2019. 2月号 (季刊誌: 年4回発行)

発行者: 公益財団法人 かがしま産業支援センター
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL: 099-219-1270 (代表)
FAX: 099-219-1279
E-mail: kisc@kric.or.jp
URL: <http://www.kric.or.jp>